NAME

JISS – JIS-0208 manipulation functions

SYNOPSIS

```
#include <geta/iso2022jp2.h>
#include <geta/jis.h>

void
jtoes(char *p, char *q)

void
jtoss(char *p, char *q)

void
etoss(char *p, char *q)

int
etojs(char *p, char *q)

int
stojs(char *p, char *q)

int
htozs(char *p, char *q)

int
ztohs(char *p, char *q)

int
zsptohsps(char *p, char *q)
```

DESCRIPTION

jtoes は *p* で示される文字列に含まれる JIS コードを EUC コードに変換し, *q* が指す場所に格納する. エスケープシークエンスが必要な場合は挿入され, さらに冗長なエスケープシークエンスは削除される. **jtoes** は値を返さない.

jtoss, **etoss** はそれぞれ JIS コードを S-JIS に変換する, EUC コードを S-JIS に変換すること以外は **jtoes** と同じである.

etojs は *p* で示される文字列に含まれる EUC コードを JIS コードに変換し, *q* が NULL でなければ *q* が指す場所に格納する. エスケープシークエンスが必要な場合は挿入され, さらに冗長なエスケープシークエンスは削除される. **etojs** は変換後の文字列の長さを返す.

stojs, **htozs**, **ztohs**, **zsptohsps** はそれぞれ S-JIS から JIS コードに, ASCII から JIS コード(変換可能なもののみ), JIS コードから ASCII (変換可能なもののみ), 全角スペースから半角スペースに(コードは JIS) 変換が行われる以外は **etojs** と同じである.

BUGS

これらの変換ルーチンはコードの正当性をチェックしないので, 必要に応じてユーザは isvalidjis(3) を使ってチェックを行わなければならない.

stoes が存在しない.

SEE ALSO

iso2022jp2(3), jisc(3), isvalidjis(3)